

第3回 定例会

平成26年度決算認定

教育・福祉分野が

さらに充実

反対討論

小池春雄 議員

ゴミ収集運搬費の指名競争入札から随意契約になると、なぜ金額が大きく変わってしまうのか、また防災公園に係わる事業費について、年度の途中で予算執行の進捗状況の説明が議会に対してないなど、町民の納得いく決算ではないと考
え反対します。

賛成討論

五十嵐善一 議員

経常収支比率は、年少人口増加にともない扶助費が増したため前年より上昇。また新築住宅・大型商業施設の進出により、町税収入は増加し続けています。安全・安心なまち、住み良い子育てしやすいまちといった観点から審査を行った結果、本決算を認定することに賛成します。

賛成14反対1で認定

平成27年第3回定例会は、9月4日から18日まで、15日間の会期で行いました。今定例会では、平成26年度決算認定をはじめ平成27年度補正予算など21議案・報告1件・同意1件・諮問3件・請願2件が提案され、議案・報告・同意・諮問について原案どおり可決しましたが、請願2件は不採択としました。

一般会計

町税6911万円の増額

平成26年度一般会計歳入
決算額は、62億4108万
円で前年度比94・6割、歳
出決算額は、61億2267
万円で前年度比97・4割で
した。

額、地方交付税は、12億1
96万円で前年度比96・2
割、4807万円の減額で
した。町税の収納未済額は、
1億5229万円で前年度
比90・8割、1534万円
減額になりました。

児童手当4億657万円、
澁川広域負担金（消防救急
など）2億4439万円、
南下城山防災公園用地買収
費および補償費1億605
3万円などです。

歳入歳出差引額は1億1
841万円で、歳入歳出差
引額から翌年度へ繰り越す
べき財源を引いた実質収支
額は5731万円でした。

歳入

歳入

主な歳入は、町税24億4
99万円で前年度比10
3割、6911万円の増

歳出

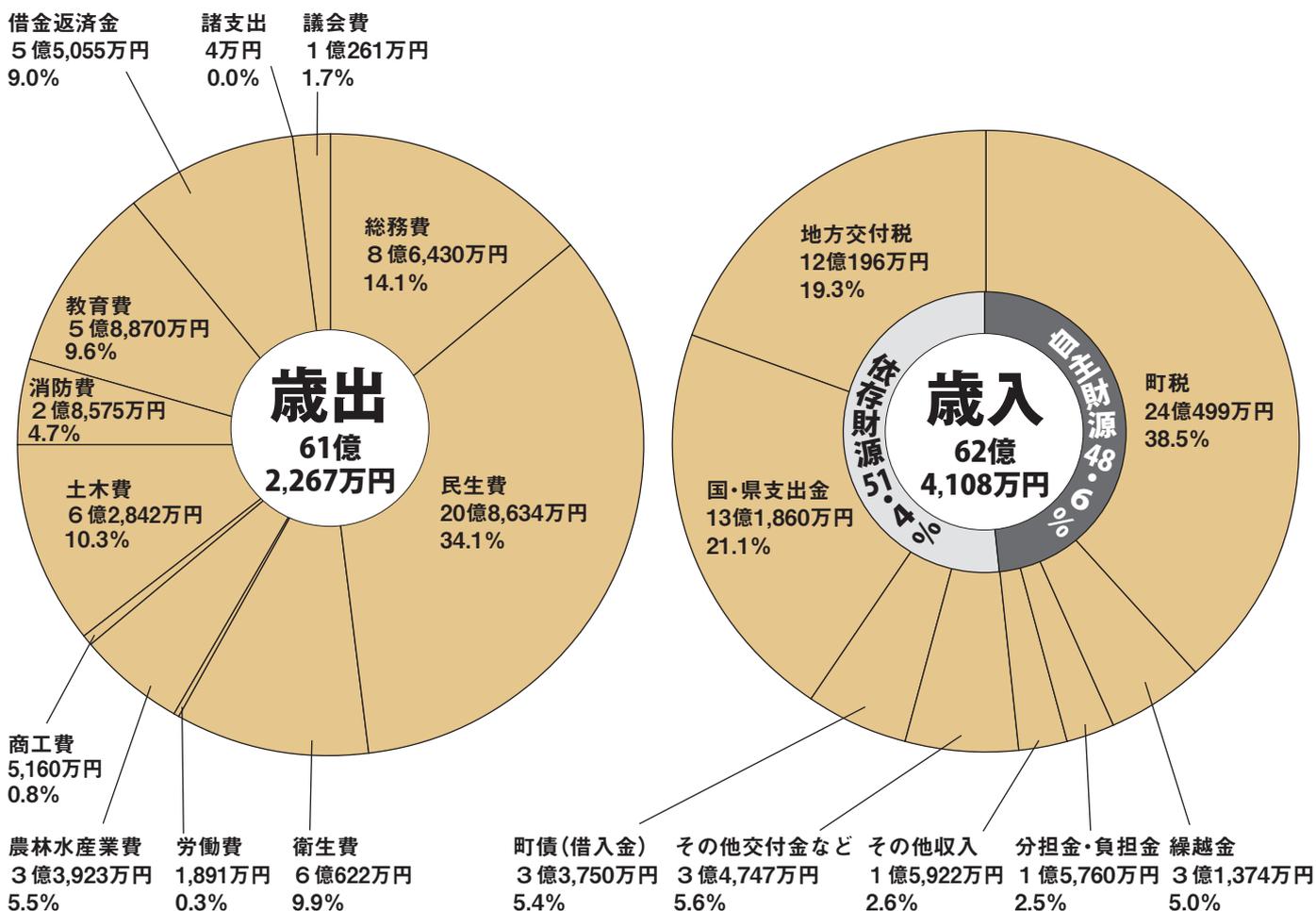
歳出

主な歳出は、保育所運営
委託料5億2215万円、



南下城山防災公園予定地

<一般会計決算の内訳>



まちの借金

総額

96億9,616万円

一般会計	50億5,328万円
公共下水道事業	20億6,595万円
農業集落排水事業	12億 348万円
住宅新築資金等貸付事業	403万円
水道事業	13億6,942万円

前年度比
96.0%

町民一人あたり

47万円

まちの貯金

総額

37億7,865万円

前年度比	103.6%
------	--------

町民一人あたり

18万円

(平成27年3月31日現在20,531人)